

# 平成 15 年北海道内地域間産業連関表について

北海道開発局

## 1 北海道内地域間産業連関表作成の趣旨

北海道開発局においては、北海道総合開発計画を立案・推進する上で、北海道の経済・社会動向を的確に把握する必要があることから、道内の産業構造及び産業間の相互依存関係を計量的に明らかにする基礎資料として「北海道産業連関表」を作成しており、昭和 30 年表から 5 年ごとに作成しているほか、北海道内地域間産業連関表等の各種応用表も作成しています。

このたび作成した平成 15 年北海道内地域間産業連関表（以下「平成 15 年地域間表」）は、平成 19 年 3 月に公表した平成 15 年延長北海道産業連関表（以下「平成 15 年延長表」）をもとに、道内を道央、道南、道北、オホーツク、十勝及び釧路・根室の 6 地域に区分し、各地域の産業構造と地域間の取引関係を示した統計表です。

## 2 北海道内地域間産業連関表の活用

「北海道内地域間産業連関表」は、各地域の経済構造、各地域間の取引による相互依存関係などについて明らかにする基礎資料等として幅広く活用されています。

### 【参 考】

- 道南の中間需要をタテにみた場合、各地域の各産業から様々な財・サービスを購入し、生産を行っていることがわかるが、アの部分では、道南が道央から購入（移入）した財・サービスを示している。

最終需要についても同様で、イの部分は最終需要を満たすために、道央から供給（移入）された財・サービスを示している。

なお、投入と産出で同じ地域で囲まれた部分については、自地域生産物の自地域供給分であるが、この部分にはその地域で消費された輸入品及び道外移入品も含まれるので、注意を要する。

平成 15 年北海道内地域間産業連関表（概念図）

(産出)→ (投入)↓	道 央	道 南	…	釧路・根室	道央	道南	…	釧路・根室	輸出及 び道 外移出	輸入及 び道 外移入	域内生 産額
	中間需要	中間需要	…	中間需要	域内最終需要	域内最終需要	…	域内最終需要			
道 央 中間 投入	道央の生産活動のために投入された(道央の中間需要を賚った)道央製品+輸入品及び道外移入品	ア (道南)道央からの移入(道央)道南への移出	…	(釧路・根室)道央からの移入(道央)釧路・根室への移出	道央の最終需要を賚った道央製品+輸入品及び道外移入品	イ (道南)道央からの移入(道央)道南への移出	…	(釧路・根室)道央からの移入(道央)釧路・根室への移出			
道 南 中間 投入	(道央)道南からの移入(道南)道央への移出	道南の生産活動のために投入された(道南の中間需要を賚った)道南製品+輸入品及び道外移入品	…	(釧路・根室)道南からの移入(道南)釧路・根室への移出	(道央)道南からの移入(道南)道央への移出	道南の最終需要を賚った道南製品+輸入品及び道外移入品	…	(釧路・根室)道南からの移入(道南)釧路・根室への移出			
釧 路 ・ 根 室 中間 投入	(道央)釧路・根室からの移入(釧路・根室)道央への移出	(道南)釧路・根室からの移入(釧路・根室)道南への移出	…	釧路・根室の生産活動のために投入された(釧路・根室の中間需要を賚った)釧路・根室製品+輸入品及び道外移入品	(道央)釧路・根室からの移入(釧路・根室)道央への移出	(道南)釧路・根室からの移入(釧路・根室)道南への移出	…	釧路・根室の最終需要を賚った釧路・根室製品+輸入品及び道外移入品			
粗 付 加 価 値 環 境 内 生 産 額	道央の生産により生み出された粗付加価値	道南の生産により生み出された粗付加価値	…	釧路・根室の生産により生み出された粗付加価値							
	道央の生産額	道南の生産額	…	釧路・根室の生産額							

問い合わせ先

北海道開発局 開発監理部 開発計画課 地域経済係  
 TEL(代表) 011-709-2311 (内線) 5415  
 FAX 011-726-2352

## 平成 15 年北海道内地域間産業連関表から見た北海道経済の概況について

### ○ ポイント

#### 【地域別の経済規模と推移】

平成 15 年の地域別の経済規模を生産額で比較すると、「道央」が 19 兆 9,968 億円と最も大きく、北海道全体の生産額 33 兆 4,975 億円のうち 59.7%を占めている。

平成 10 年の生産額と比較すると、いずれの地域も減少している。

#### 1 地域別生産額の推移

地域別の経済規模を生産額で比較すると（図表 1）、「道央」が 19 兆 9,968 億円と最も大きく、北海道全体の生産額 33 兆 4,975 億円のうち 59.7%を占めている。次いで「道北」が 3 兆 7,457 億円（シェア 11.2%）、以下、「道南」2 兆 8,382 億円（同 8.5%）、「釧路・根室」2 兆 3,777 億円（同 7.1%）、「十勝」2 兆 3,361 億円（同 7.0%）、「オホーツク」2 兆 2,031 億円（同 6.6%）の順となっている。

平成 10 年の生産額と比較すると、いずれの地域も減少している。また割合を比較すると、「道央」及び「道南」のシェアが上昇している。

#### 2 地域別産業構造

地域別の産業構造の構成比をみると（図表 2）、「道央」は全道と比較して第 3 次産業の割合が高く、第 1 次産業の割合が低い。「道南」は、全道と比較して製造業を中心とした第 2 次産業の割合が高く、第 3 次産業の割合が低い。「オホーツク」、「十勝」及び「釧路・根室」の 3 地域は、全道と比較して第 1 次産業の割合が高く、第 3 次産業の割合が低い。

#### 3 域際収支

地域別の域際収支をみると（図表 3、4）、「道央」の道外域際収支（注 1）は第 2 次産業が 2 兆 2,567 億円の赤字となり、総額では 2 兆 2,222 億円の赤字となっている。一方、道内域際収支（注 2）は第 3 次産業が 4,778 億円、第 2 次産業が 3,793 億円の黒字となっており、総額では 8,128 億円の黒字と大幅な移出超過となっている。

それ以外の 5 地域をみると、道外域際収支では「釧路・根室」が第 1 次産業、第 2 次産業で黒字となり、総額 258 億円の黒字となっているが、「道南」、「道北」、「オホーツク」及び「十勝」では赤字となっている。道内域際収支では、5 地域とも赤字となっている。

また、道外域際収支と道内域際収支を合計した域際収支計では、6 地域全てで赤字となっている。

（注 1） 道外域際収支とは、ある道内地域と道外（海外含む。）との交易（取引）の収支である。

（注 2） 道内域際収支とは、ある道内地域とその他の道内 5 地域との交易（取引）の収支である。

#### 4 北海道内地域間の交易構造

道内各地域間の交易金額(注)の総額に占める各地域間の交易金額の割合をみると(図表5)、「道央」とその他5地域との交易は、「道央―道北」間の22.4%をはじめ、いずれも10%を超えており、その合計は79.2%と北海道の経済において「道央」が中心となっていることがわかる。

一方、「道南―釧路・根室」間及び「道南―オホーツク」間の交易は、それぞれ1.1%、0.8%と道内各地域間の中で特に小さい。

(注) 交易金額とは、ある道内地域とその他の道内5地域との交易額(移出額+移入額)のことである。

#### 5 地域別生産誘発構造

産業連関表において、各産業の生産は、すべて最終需要により誘発される。図表6は、地域別に最終需要項目別生産誘発額(注)の割合を表したものであり、各地域の生産がどのような最終需要項目によって誘発されたのかを示している。

「自地域消費」による生産誘発額の割合をみると、「道央」が53.5%と最も高くなっているほか、「道北」も50.7%と高い。一方、「オホーツク」と「釧路・根室」はいずれも30%台と低い水準となっている。

「自地域投資」による生産誘発額の割合は、「道北」が18.8%と最も高く、また、「道南」、「オホーツク」及び「十勝」も15%を超えている。

「道内他地域需要」による生産誘発額の割合は、「オホーツク」が14.9%と最も高く、「道北」は、8.7%と最も低い。

「道外需要」による生産誘発額の割合は、「釧路・根室」が36.9%と最も高く、これは最も低い「道北」の約1.7倍の水準となっている。また、「釧路・根室」は、道外需要による生産誘発額が自地域消費による生産誘発額を上回る唯一の地域であり、「釧路・根室」の生産活動は、道外の需要要因によるところが大きいことがわかる。

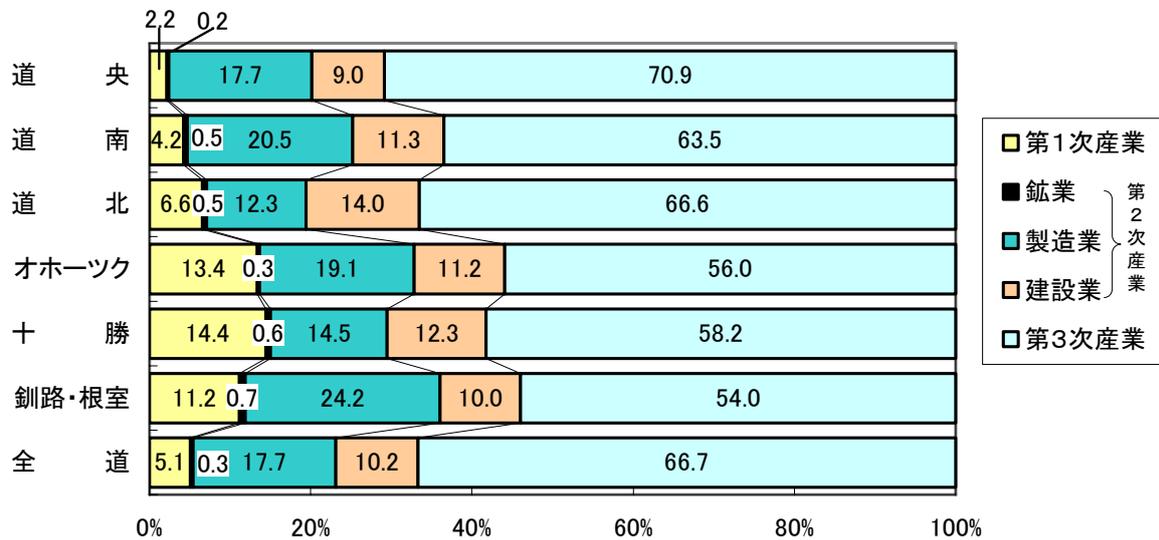
(注) 最終需要項目別生産誘発額とは、どの最終需要項目が、どの産業の生産を、どれだけ誘発したかを示したもので、最終需要を賄うために直接・間接に必要なとなった生産額のことである。

例えば、道内他地域需要とは、自地域の生産活動のうち道内他地域の需要で誘発されている生産額のことである。

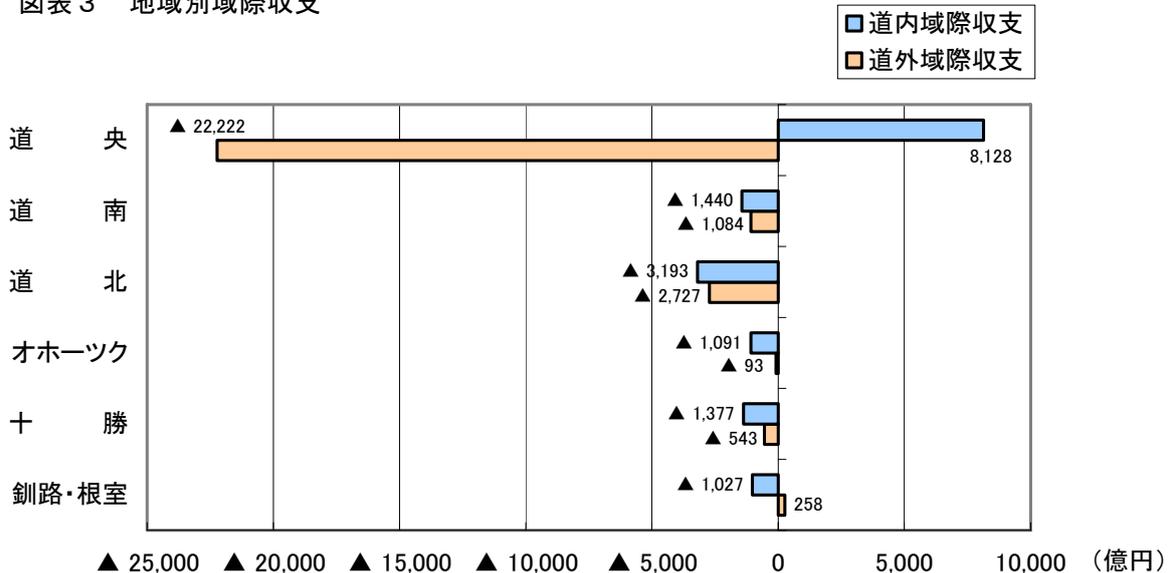
図表 1 地域別生産額の推移

	生産額 (億円)			構成比 (%)			生産額の伸び率 (%)			
	平成 5 年	平成 1 0 年	平成 1 5 年	平成 5 年	平成 1 0 年	平成 1 5 年	5 ~ 1 0 年	1 0 ~ 1 5 年		
道 央	200,705	204,945	199,968	59.1	58.4	59.7	2.1	-2.4		
道 南	27,617	28,462	28,382	8.1	8.1	8.5	3.1	-0.3		
道 北	39,944	42,330	37,457	11.8	12.1	11.2	6.0	-11.5		
オホーツク	道東 (71,256)	23,525	22,031	道東 (21.0)	6.7	6.6	道東 (5.2)		-6.4	
十 勝		25,308	23,361		7.2	7.0				-7.7
釧路・根室		26,133	23,777		7.5	7.1				
北海道計	339,522	350,703	334,975	100.0	100.0	100.0	3.3	-4.5		

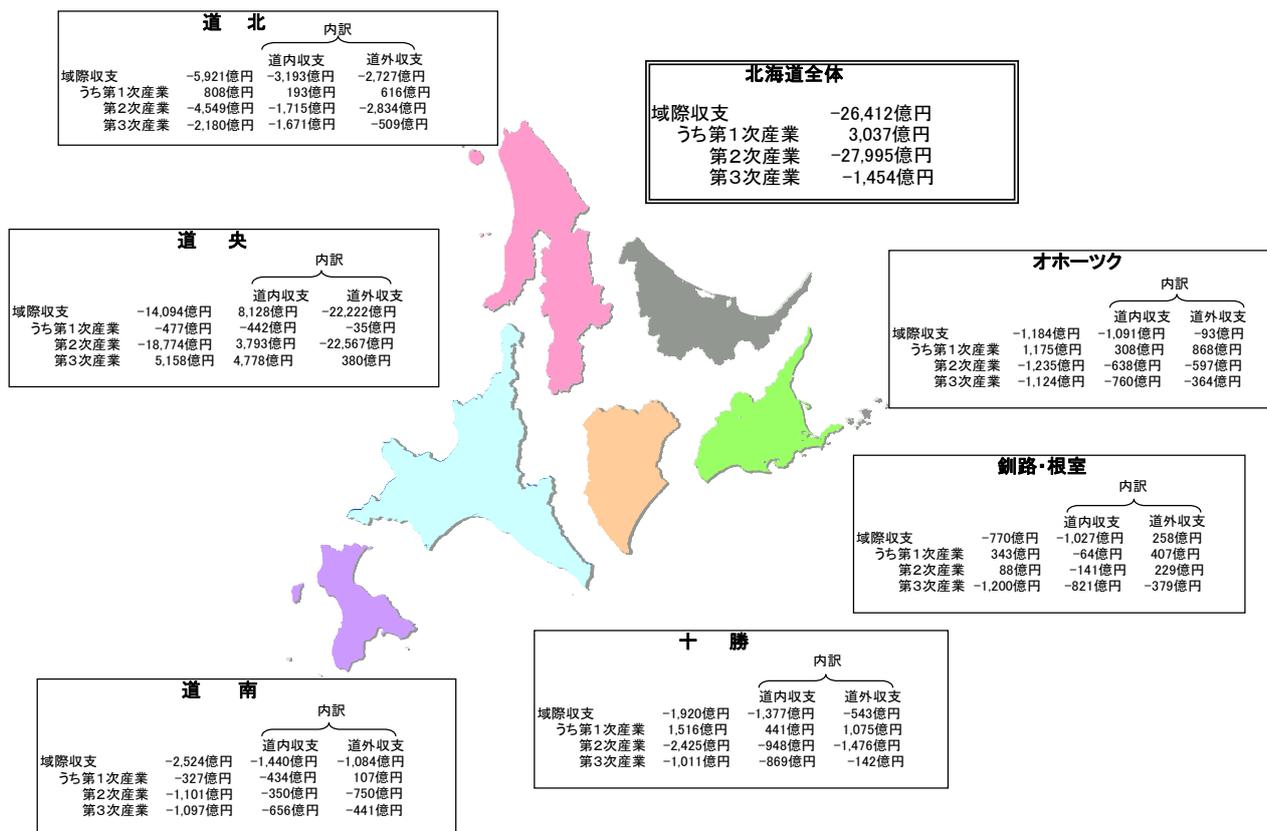
図表 2 地域別産業構造 (5 産業別)



図表 3 地域別域際収支



図表4 各地域間の交易

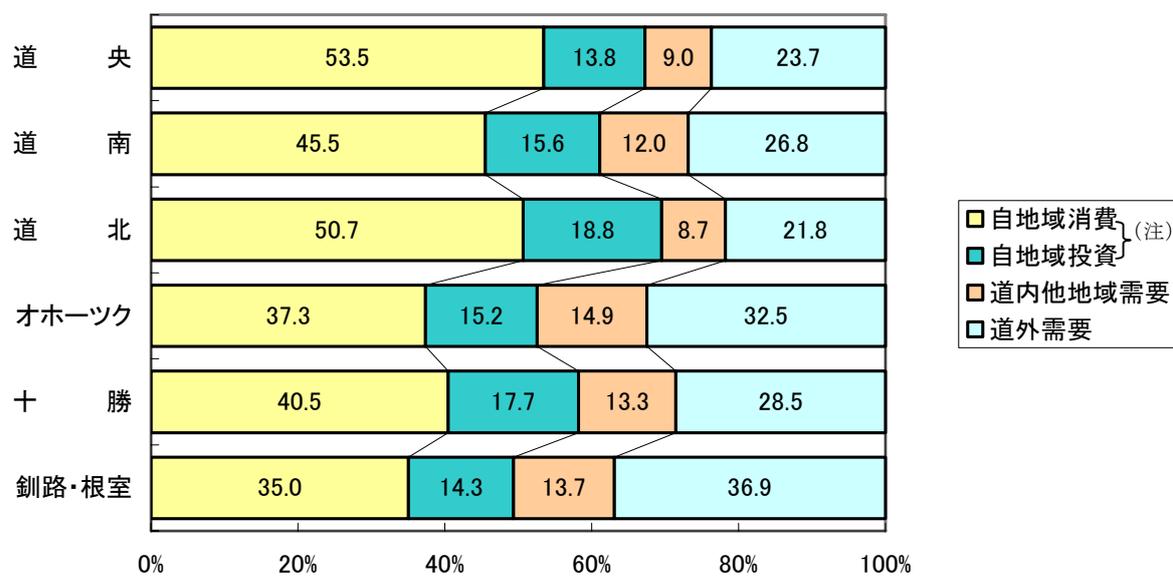


図表5 各地域間の交易の割合

(単位：%)

道央	17.9	22.4	13.3	13.7	12.0
	道南	1.5	0.8	1.5	1.1
		道北	2.1	1.8	1.8
			オホーツク	2.0	4.5
				十勝	3.6
					釧路・根室

図表6 地域別最終需要項目別生産誘発構



(注) 自地域消費とは、自地域の家計外消費支出、民間消費支出及び一般政府消費支出のことである。

自地域投資とは、自地域の総固定資本形成（公的、民間）及び在庫純増のことである。（13部門分類参照）